さいき城山桜ホール 来館者数100万人達成 記念シンポジウム

これからの文化芸術の振興とマチの賑わいを考える

ーさいき城山桜ホールを核とした中心市街地の活性化ー

開館から3年半で延べ来館者数100万人を達成した桜ホールは、周辺まち並みとの景観的調和などに配慮したデザインに加えて、整備計画段階からの徹底かつ多様な市民参加プログラムを導入したことが評価され、グッドデザイン賞や2023年度土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞するなど、人口減少や高齢化が進む地方都市において、日常的に人が集い、市民活動が活発に行われている事例として注目されています。シンポジウムでは、桜ホールを核とした文化芸術の振興とマチのにぎわいをテーマに議論します。

＃学生の参加大歓迎 ＃第一線で活躍 ＃専門家 ＃有識者 ＃都市環境デザイン ＃建築 ＃ランドスケープ ＃劇場コンサル ＃ホール運営 ＃交流 ＃意見交換 ＃職業講話 ＃文化芸術 ＃まちづくり ＃持続可能 ＃市民の想いをかたちに

日 時 令和6年 5月25日(土)
13時00分開場／13時30分～16時00分

会 場 さいき城山桜ホール 大ホール
〒876-0831 大分県佐伯市大手町2丁目2番28号

どなたでも参加OK
入場無料
事前申込不要

プログラム

13：20 オープニングアトラクション
佐伯市こどもミュージカル

13：30 開 演

13：35 第一部｜基調講演
「劇場を中心としたまちづくり」
伊東正示／（株）シアターワークショップ 代表

14：10 休 憩

14：20 第二部｜パネルディスカッション
「桜ホールを核とした中心市街地の活性化」
柴田 久／福岡大学工学部社会デザイン工学科教授
佐野 真紀子／（株）日本政策投資銀行大分事務所長
加藤 康彦／さいき城山桜ホール初代館長
田中 利明／佐伯市長
モデレーター：伊東 正示

15：40 質疑・応答

16：00 終 演

大手前今昔写真展

同時開催

- 2024.3 100万人
- 2020.10 さいき城山桜ホール開館
- 2020.9 サポーター発足
- 2019.11 開館１年前イベント開催
- 2018.11 わくわく大手前隊発足
- 2018.3 「さいき城山桜ホール」名称決定
- 2017.4 管理運営実施計画市民ワークショップ
- 2016.5 基本設計諸室ヒアリング
- 2015.7 大手前開発基本計画策定
- 2014.12 大手前開発基本計画提案書
- 2013.10 市民会議・高校生部会発足
- 2012.8 白紙撤回

さいき城山桜ホール

主催：佐伯市（地域振興部文化芸術交流課）
問い合わせ先：さいき城山桜ホール

TEL 0972-24-2228　FAX 0972-24-2229
Mail ootemae@city.saiki.lg.jp

登壇者紹介

講演者／モデレーター

伊東　正示　(株)シアターワークショップ代表

1952年生まれ。1975年早稲田大学建築学科卒。その後、大学院で劇場建築の研究を行い、1981～94年文化庁非常勤調査員として新国立劇場の建設に携わる。1983年シアターワークショップを設立。劇場・ホールの構想づくりから設計・施工のコンサルティング、管理運営計画の策定や開館準備そして開館後の劇場運営、イベントの企画制作まで、劇場・ホールに関することはなんでも行う総合劇場プロデューサーとして、これまでに300館を越えるプロジェクトに参加。2008年「職能としての劇場コンサルタントの確立と一連の業績」で日本建築学会賞（業績）を受賞。

パネリスト

柴田　久　福岡大学工学部社会デザイン工学科教授

1970年福岡県生まれ。2001年3月、東京工業大学大学院情報環境学専攻博士課程修了博士（工学）。専門は景観設計、公共空間のデザイン、まちづくり。主な受賞歴としてグッドデザイン賞、土木学会デザイン賞、防災まちづくり大賞、キッズデザイン賞など多数。著書に『地方都市を公共空間から再生する:日常のにぎわいをうむデザインとマネジメント』『土木の仕事ガイドブック-日常をつくるプロフェッショナルー』など。

佐野真紀子　日本政策投資銀行大分事務所長

大分県佐伯市生まれ。1990年日本開発銀行（現㈱日本政策投資銀行）入行。2020年大分事務所事務所長代理を経て、2023年6月現職。入行以来、大分事務所にて県内の産業動向や芸術文化によるまちづくり等についての調査を継続、情報発信を行っている。2020年1月には共著にてDBJBooks「アートの創造性が地域をひらく」を執筆・出版。県内自治体の地域振興、観光振興にかかる外部委員も多数務める。

加藤　康彦　さいき城山桜ホール初代館長

1956年臼杵市生まれ。同志社大学卒業後、大分県立芸術会館学芸員となり、洋画を中心に近現代美術の展覧会を多数企画。また大分県立芸術文化短期大学などの非常勤講師を兼務する。のち大分県企画振興部で県立美術館構想に参画。大分県立美術館OPAM開館後は学芸課長、副館長を務めた。同館退職後、佐伯市大手前開発推進室に参事として採用され、さいき城山桜ホール開館に際して館長に就任する。今年3月、任期満了をもって佐伯市を退職した。

田中　利明　佐伯市長

1951年佐伯市生まれ。1983年に佐伯市議会議員（4期16年在籍）当選後、大分県議会議員（5期18年在籍）、県議会議長就任を経た後、2017年4月、佐伯市長に就任し、現在2期8年目を迎えている。文化芸術の持つ力を原動力とした、心豊かなまちづくり・人づくりを目的とした取組をはじめ、『地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり～さいきオーガニックシティの実現～』を掲げ、今後、将来にわたり持続可能なまちを創るため、「経済・社会・環境」の3つに配慮し、そのすべてが調和した取組（佐伯版SDGs）を推進している。

アクセス

住所：〒876-0831 佐伯市大手町2丁目2番28号
電車：JR大分駅からJR佐伯駅（約1時間20分）
　　　JR佐伯駅からバスを利用ください。
　　　大手前停留所まで約15分
バス：大手前停留所下車　徒歩3分
車　：佐伯ICより約15分 ・ 佐伯堅田ICより約15分